

横暖ルーフ

工 法

新築

下 地

耐水合板

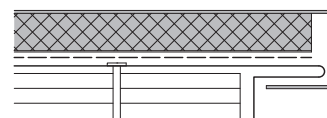
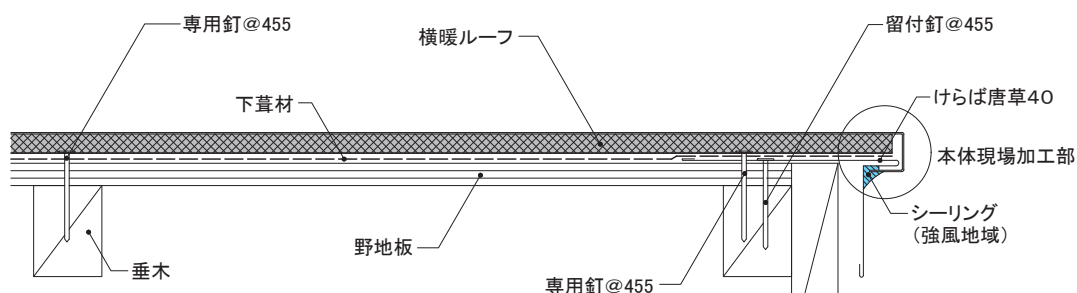
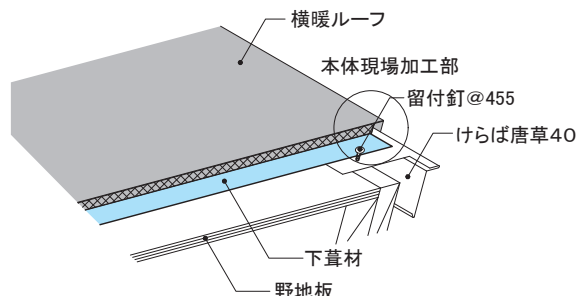
構造

木造

4) けらば部

① けらば唐草40

- けらば唐草40は留付釘(ステンレススクリー釘 長さ32mm以上)を用いて、455mm以下の間隔で、図の位置に取り付けます。
- 下葎材を図のように張り、横暖ルーフ本体は専用釘(ステンレススクリー釘 $\phi 2.3\text{mm} \times 50\text{mm}$)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に施工します。
- 横暖ルーフ本体端部を図のように現場加工し、けらば唐草40へ納めます。強風地域では取り合い部にシーリングを施工します。

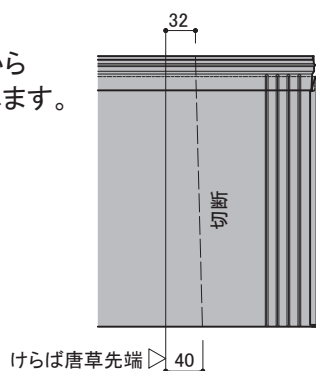


部分断面図

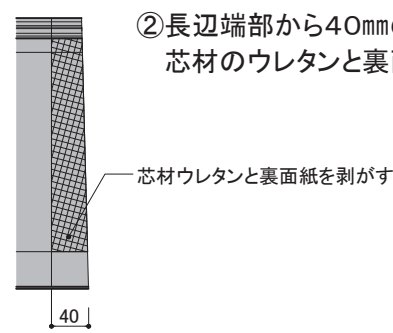
■ 施工ポイント・本体現場加工図

- 横暖ルーフ本体のけらば部分は図のように加工します。

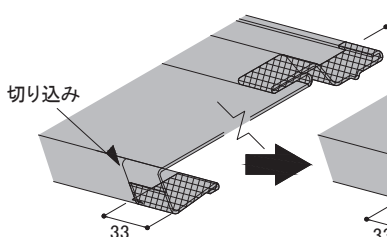
- ① けらば唐草先端から
図の寸法で切断します。



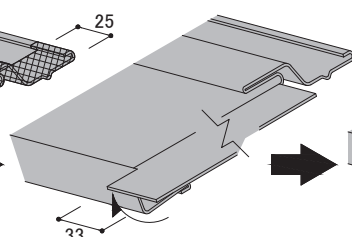
- ② 長辺端部から40mmの位置まで
芯材のウレタンと裏面紙を剥がします。



- ③ 網掛け部分を
切り落とします。



- ④ 切り込みを入れた部分を
水平に起こします。



- ⑤ けらば唐草先端を巻き込むように
折り曲げます。

